

磯辺地区の小・中学校に関する資料（推計は、平成20年度に算出したものである。）

1 小学校

(1) 児童数・学級数の推移

		20年度の太字は、加配活用での開級					学級増の可能性あり		
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
磯辺第一小	児童数	1年	77	51	54	49	45	51	31
		2年	61	77	51	54	49	45	51
		3年	69	61	77	51	54	49	45
		4年	58	69	61	77	51	54	49
		5年	73	58	69	61	77	51	54
		6年	79	73	58	69	61	77	51
		計	417	389	370	361	337	327	281
	学級数	1年	3	2	2	2	2	2	1
		2年	2	3	2	2	2	2	2
		3年	2	2	2	2	2	2	2
		4年	2	2	2	2	2	2	2
		5年	2	2	2	2	2	2	2
		6年	3	2	2	2	2	2	2
計		14	13	12	12	12	12	11	
磯辺第二小	児童数	1年	18	30	31	26	27	32	29
		2年	41	18	30	31	26	27	32
		3年	25	41	18	30	31	26	27
		4年	15	25	41	18	30	31	26
		5年	21	15	25	41	18	30	31
		6年	15	21	15	25	41	18	30
		計	135	150	160	171	173	164	175
	学級数	1年	1	1	1	1	1	1	1
		2年	2	1	1	1	1	1	1
		3年	1	2	1	1	1	1	1
		4年	1	1	2	1	1	1	1
		5年	1	1	1	2	1	1	1
		6年	1	1	1	1	2	1	1
計		7	7	7	7	7	6	6	
磯辺第三小	児童数	1年	68	52	65	63	39	51	50
		2年	79	68	56	65	63	39	51
		3年	74	79	71	56	65	63	39
		4年	85	74	82	71	56	65	63
		5年	79	85	77	82	71	56	65
		6年	76	79	87	77	82	71	56
		計	461	437	438	414	376	345	324
	学級数	1年	2	2	2	2	2	2	2
		2年	3	2	2	2	2	2	2
		3年	2	2	2	2	2	2	1
		4年	3	2	3	2	2	2	2
		5年	3	3	2	3	2	2	2
		6年	2	2	3	2	3	2	2
計		15	13	14	13	13	12	11	
磯辺第四小	児童数	1年	21	24	32	31	23	17	20
		2年	38	21	24	32	31	23	17
		3年	28	38	21	24	32	31	23
		4年	30	28	38	21	24	32	31
		5年	34	30	28	38	21	24	32
		6年	29	34	30	28	38	21	24
		計	180	175	173	174	169	148	147
	学級数	1年	1	1	1	1	1	1	1
		2年	2	1	1	1	1	1	1
		3年	1	1	1	1	1	1	1
		4年	1	1	1	1	1	1	1
		5年	1	1	1	1	1	1	1
		6年	1	1	1	1	1	1	1
計		7	6	6	6	6	6	6	
高浜第一小	児童数	1年	20	15	21	23	29	12	25
		2年	17	25	15	21	23	29	12
		3年	15	21	25	15	21	23	29
		4年	19	19	21	25	15	21	23
		5年	12	22	19	21	25	15	21
		6年	21	15	22	19	21	25	15
		計	104	117	123	124	134	125	125
	学級数	1年	1	1	1	1	1	1	1
		2年	1	1	1	1	1	1	1
		3年	1	1	1	1	1	1	1
		4年	1	1	1	1	1	1	1
		5年	1	1	1	1	1	1	1
		6年	1	1	1	1	1	1	1
計		6	6	6	6	6	6	6	

(2) 統合が行われない場合の平成26年度の小学校の状況

学級増の可能性あり

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一小	1年	31	1	31	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(11)	/	/
	2年	51	2	26				
	3年	45	2	23				
	4年	49	2	25				
	5年	54	2	27				
	6年	51	2	26				
	計	281	11	平均26名				
磯辺第二小	1年	29	1	29	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6)	/	/
	2年	32	1	32				
	3年	27	1	27				
	4年	26	1	26				
	5年	31	1	31				
	6年	30	1	30				
	計	175	6	平均29名				
磯辺第三小	1年	50	2	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(11)	少人数加配 教員(3年)	/
	2年	51	2	26				
	3年	39	1	39				
	4年	63	2	32				
	5年	65	2	33				
	6年	56	2	28				
	計	324	11	平均29名				
磯辺第四小	1年	20	1	20	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6) 特別支援担当 (病院内学級1)	/	/
	2年	17	1	17				
	3年	23	1	23				
	4年	31	1	31				
	5年	32	1	32				
	6年	24	1	24				
	計	147	6	平均25名				
高浜第二小	1年	25	1	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6) 特別支援担当 (通級指導1)	/	/
	2年	12	1	12				
	3年	29	1	29				
	4年	23	1	23				
	5年	21	1	21				
	6年	15	1	15				
	計	125	6	平均21名				

(3) 小学校の適正配置【参考シミュレーション】

★参考統合シミュレーション1

【磯辺第一小・磯辺第三小、磯辺第二小・磯辺第四小の統合】

ア 現行の磯辺地区の小学校区の中での統合

①磯辺第一小+磯辺第三小 → 605人18学級

②磯辺第二小+磯辺第四小 → 322人12学級

イ 高浜第二小(高浜三丁目・六丁目)を加えた場合

磯辺第一小+磯辺第三小+高浜第二小 → 730人21学級

ウ 高浜六丁目のみを加えた場合

磯辺第一小+磯辺第三小+高浜6丁目の児童 → 621人19学級

○協議会で出された意見

○統合校同士の規模にアンバランスがある。

○磯辺第二小と磯辺第四小の統合は、せっかく統合してもいずれまた小規模校になってしまう恐れがある。(第1次の取り組みでも指摘された。)

★参考統合シミュレーション2

【磯辺第一小・磯辺第二小、磯辺第三小・磯辺第四小の統合】

ア 現行の磯辺地区の小中学校区の中での統合

- ① 磯辺第一小+磯辺第二小 → 456人15学級
- ② 磯辺第三小+磯辺第四小 → 471人14学級

イ 高浜第二小（高浜三丁目・六丁目）を加えた場合

磯辺第三小+磯辺第四小+高浜第二小 → 596人18学級

ウ 高浜六丁目のみを加えた場合

磯辺第三小+磯辺第四小+高浜6丁目の児童 → 487人15学級

○協議会で出された意見

○統合校同士の規模にバランスはあるが、通学距離のバランスは悪くなる。

★参考統合シミュレーション3

【磯辺第一中学校区「磯辺第一小の一部・磯辺第二小・磯辺第四小」、磯辺第二中学校区「磯辺第一小の一部・磯辺第三小」の統合】

ア 現行の磯辺地区の小中学校区の中での統合

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第二小 + 磯辺第四小	1年	69	2	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 特別支援担当 (病院内学級1) 専科担当(1)	少人数 加配教員 (2・3年)	
	2年	73	2	37				
	3年	78	2	39				
	4年	82	3	27				
	5年	96	3	32				
	6年	88	3	29				
	計	486	15	平均32名				
磯辺第二中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第三小	1年	61	2	31	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 専科担当(1)		
	2年	78	3	26				
	3年	56	2	28				
	4年	87	3	29				
	5年	86	3	29				
	6年	73	2	37				
	計	441	15	平均29名				

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。  
・学校行事が活性化する。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。  
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

音楽など専門的な知識を持つ教員の指導を受けられる。  
教員の校務分掌の負担が減る。

2・3年生は、それぞれ、少人数指導を展開するか、3クラスに分けることができる。

イ 高浜第二小（高浜三丁目・六丁目）を加えた場合

566人18学級

ウ 高浜六丁目のみを加えた場合

457人15学級

○協議会で出された意見

- 統合校同士の規模のバランスも通学距離のバランスも悪くない。
- 子どもによっては、大通りを渡って通学しなければならない。
- 磯辺第一小学校が二つに分断されてしまう。

★参考統合シミュレーション4【マリーナストリートで分けて統合】

ア 現行の磯辺地区の小校区の中での統合

音楽など専門的な知識を持つ教員の指導を受けられる。

5年生は、少人数指導を展開するか、4クラスに分けることができる。

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一小 + 磯辺第二小 + 磯辺第四小	1年	80	3	27	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(18) 特別支援担当 (病院内学級1) 専科担当(1)	少人数加配 教員(5年)	
	2年	100	3	33				
	3年	95	3	32				
	4年	106	3	35				
	5年	117	3	39				
	6年	105	3	35				
計	603	18	平均34名	3名	21名	1名	0名	
磯辺第三小	1年	50	2	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(11)	少人数加配 教員(3年)	
	2年	51	2	26				
	3年	39	1	39				
	4年	63	2	32				
	5年	65	2	33				
	6年	56	2	28				
計	324	11	平均29名	3名	12名	1名	0名	

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。  
・学校行事が活性化します。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。  
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

教員の校務分掌の負担が減る。

3年生は、少人数指導を展開するか、2クラスに分けることができる。

イ 高浜第二小（高浜三丁目・六丁目）を加えた場合

449人15学級

ウ 高浜六丁目のみを加えた場合

340人12学級

※磯辺第三小学校の保有教室数は22教室であり、磯辺第一小学校脇の野球場と磯辺第一小学校の敷地を合わせて大規模開発が行われた場合（磯辺第一小学校が跡地となった場合を想定）に発生する児童数を最大限に見積もり、その児童を磯辺第三小学校に受け入れた場合でも20学級と予想される。

○協議会で出された意見

- 磯辺第一小+磯辺第二小+磯辺第四小の統合校は、18学級の最適規模になる。
- 磯辺第三小は平成26年度に加配活用で12学級の適正規模である。（特別支援学級の設置はできないか。）
- 磯辺第三小としては、大通りを渡る必要がなくなるので、この案を支持する保護者もいる。
- 磯辺第一小脇の少年野球専用球場に、万一、大規模なマンション開発があった時には、発生する児童は磯辺第三小を単独で残しておくことにより収容できる。

(4) 協議会でまとめられた今後の話し合いの方向性

**小学校については、シミュレーション4の方向で話し合っていく。**

◎委員から出されたこれを支持する意見

- 可能性は少ないとしても万一のことは考慮してシミュレーション4とするのがよい。
- 磯辺第一小が二つに分断されない。
- 磯辺地区の第1次の取り組みでは、磯辺第二小と磯辺第四小との統合が検討され、「両校を統合しても将来また小規模校になってしまわないように、磯辺第一小も含めて議論する必要がある。」「磯辺地区の中学校の学区が磯辺第一小を分断しているのは問題である。」「中学校も含め、磯辺地区全体で学校適正配置を検討する必要がある。」という結論に至り、それを踏まえて、現在第2次の取り組みをしており、この案は第1次の取り組みの経緯に沿ったものだ。

◎一部の保護者の代表者から出された懸念

- 運動場の開発がはっきりするまで待つべきだ。
- 子どもたちが大通りを渡る可能性がある。
- 開発がなければ磯辺第三小が小規模校化するのではないか。

2 磯辺地区の主な企業庁の土地について

※千葉県企業庁は平成24年度末に解散し、その後の資産管理は千葉県などへ移管される予定である。千葉市では市長部局の政策調整課が企業庁との窓口となっているが、教育委員会も必要に応じて随時情報交換を行っている。

(1) 磯辺地区少年野球専用球場[磯辺第一小学校脇]（磯辺5丁目52-1）

ア 面積・用途 28,560 m<sup>2</sup> 第一種中高層住居専用地域

イ 現状 平成22年度末まで、野球場として使用可能。その後企業庁へ返還予定

ウ 企業庁の意向 返還後は、地域の要望を聞きながら使い道を計画

エ 考えられる使い道

①住宅以外の用途で民間に売却（例：福祉施設、病院など）

②住宅開発

地域の要望を踏まえて、計画することになるので大規模開発になる可能性は低い。

- ・戸建て住宅
- ・低層マンション
- ・高層マンション

平成23年度以降、地元と協議しながら検討することになるため、計画が確定するまでには時間がかかり、実施されるのはさらに先のことになると思われる。

オ 学校適正配置との関連

①磯辺地区の学校の現状を考えると、各学校により良い教育環境をできるだけ早く整えてあげたい。

②住宅開発に関しては、大規模な高層マンションの開発がない限り、それほど多くの子どもが発生することは予測されず、その場合に発生した児童は磯辺第一小学校でも磯辺第一小学校との統合校でも磯辺第三小学校でも受け入れることができる。（どの学校に受け入れるかは、正式な開発計画が教育委員会に上がってきた時点で各小学校の規模を考慮に入れながら検討可能。）

③大規模な高層マンションが建設される可能性は低いと考えるが、仮に地域の要望にもかかわらず大規模なマンション開発が行われたとして、発生する児童を最大に見積もっても、磯辺第三小学校を単独で残しておけば受け入れることができる。

(2) 海浜市民運動広場（磯辺3丁目69-3）16,601㎡

- ア 面積・用途 16,601㎡ 第1種低層住居専用地域
- イ 現状 千葉市が取得の方向
- ウ 今後の使い道 引き続き市民運動広場として使用

(3) 磯辺第一中学校向かいの空き地（磯辺4丁目22）7,000㎡

- ア 面積・用途 7,000㎡ 第1種低層住居専用地域
- イ 企業庁の意向  
使い道を計画するが、子どもルームの敷地（600㎡）については市が今後も使用
- ウ 考えられる使い道
  - ①戸建て住宅開発（大きな人口増の心配はない。）
  - ②住宅以外の用途で民間に売却（例：福祉施設、病院など）

3 中学校

※磯辺地区では、中学校の適正配置の方向性については、まだ具体的な協議は行われていません。このことは、中学校の適正配置は後回しにするという意味ではありません。単に話し合いの順序であり、仮に小中学校の適正配置の方向性がまとまれば、次は統合時期と統合場所の協議に移ることになります。

(1) 生徒数・学級数の推移

20年度の太字は、加配活用での開級 **学級増の可能性あり**

			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
磯辺第一中	生徒数	1年	80	88	98	77	85	95	80
		2年	70	80	88	98	77	85	95
		3年	78	70	80	88	98	77	85
		計	228	238	266	263	260	257	260
	学級数	1年	3	3	3	3	3	3	3
		2年	2	<b>2</b>	3	3	<b>2</b>	3	3
		3年	2	2	<b>2</b>	3	3	<b>2</b>	3
	計	<b>7</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	
磯辺第二中	生徒数	1年	100	111	97	110	105	110	115
		2年	84	103	113	97	110	105	110
		3年	87	86	105	113	97	110	105
		計	271	300	315	320	312	325	330
	学級数	1年	3	3	3	3	3	3	4
		2年	3	3	3	3	3	3	3
		3年	3	3	3	3	3	3	3
	計	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	

○磯辺第二中の生徒数には、高浜第二小学校区の生徒数も含まれている。

(2) 統合が行われない場合の平成26年度の中学校の状況

	学級編制の状況				教員配置			
	生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一中	1年	80	3	27	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	95	3	32				
	3年	85	3	28				
	計	260	9	平均29名				
磯辺第二中	1年	115	4	29	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	110	3	37				
	3年	105	3	35				
	計	330	10	平均33名				

(3) 中学校の適正配置【参考シミュレーション】

★参考統合シミュレーション1

現在の学区で磯辺第一中と磯辺第二中【高浜第二小学校区からの生徒を含む】を統合

	学級編制の状況				教員配置			
	生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
統合校	1年	195	6	33	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	205	6	34				
	3年	190	5	38				
	計	590	17	平均35名				

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。</li> <li>・学校行事が活性化する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が免許外の教科を担当することはない。</li> <li>・ほとんどの教科で複数の教員が配置されるので、教員同士の研修ができる。</li> <li>・ニーズに応じた部活動数を確保できる。</li> <li>・教員の校務分掌の負担が減る。</li> </ul> |
|---|--|

★参考統合シミュレーション2

磯辺第一中と磯辺第二中の一部【高浜第二小学校区からの生徒を除く】を統合

仮に、現在の高浜第二小学校の学区（高浜6丁目・高浜3丁目）が、磯辺第二中学校区から、高浜中学校区へ変更した場合を想定

	学級編制の状況				教員配置			
	生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
統合校	1年	176	5	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	187	5	37				
	3年	176	5	35				
	計	539	15	平均36名				



★参考統合シミュレーション3

磯辺第一中と磯辺第二中の一部【高浜3丁目からの生徒を除く】を統合

話し合いの枠組み（海浜松風通りより磯辺側）で、磯辺地区の中学校を統合した場合を想定

	学級編制の状況			教員配置				
	生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
統合校	1年	179	5	36	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	189	5	38				
	3年	180	5	36				
	計	548	15	平均37名				

★中学校の統合をせず、小学校のシミュレーション4に伴い学区をマリーナストリートで分けた場合

	学級編制の状況			教員配置				
	生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一中	1年	110	3	37	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	114	3	38				
	3年	108	3	36				
	計	332	9	平均37名				
磯辺第二中	1年	85	3	28	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	91	3	30				
	3年	82	3	27				
	計	258	9	平均29名				

(4) 平成20年度の部活動の開設状況

	部活動名	磯辺第一中			磯辺第二中		
		開設	顧問数	部員数	開設	顧問数	部員数
①	野球	○	2	男27	○	3	男30
②	サッカー	○	2	男30	○	3	男27
③	ソフトテニス	○	5	男40女29	○	3	女23
④	バレーボール	○	2	女20	○	3	女27
⑤	吹奏楽	○	2	女27	○	3	男4女32
⑥	美術	○	2	男1女12	○	3	女10
⑦	バスケットボール	×	×	×	○	3	男19女19
⑧	卓球	×	×	×	○	3	男30
⑨	陸上	×	×	×	○	3	男21女13
⑩	ヨット	○	3	男18	×	×	×



4 校舎・校地データ

学校名	開校年度	校地面積 (m <sup>2</sup> )	校地借用の相手方	校舎延床面積 (m <sup>2</sup> )	棟名 (耐震化状況)	大規模改修等 (年度)	校庭整備年度	教室数		主な特別教室	防災関係	その他
								保有普通教室数	普通教室として使用できる教室数			
磯辺第一小	S54	19,687 (借用)	(千葉県)	6084	校舎未実施 (0.60,0.41) 体育館 (実施予定)	なし	H14	29	26	図書室、音楽室、理科室、家庭科室、工作室、生活科室、社会科展示室、コンピュータ室、視聴覚室、児童会室、多目的室、資料室、会議室		
磯辺第二小	S55	17,895 (借用)	(千葉県)	5810	校舎未実施 (0.67,0.53,0.37) 体育館 (実施予定)	なし	H11	26	23	図書室、音楽室、第1・2理科室、家庭科室、工作室、コンピュータ室、視聴覚室、児童会室、学年学習室、多目的室、わくわくルーム	広報無線、ろ過浄水機設置	
磯辺第三小	S56	16,487		5318	校舎未実施 (0.56,0.51,0.80) 体育館 (実施予定)	なし	H15	22	19	図書室、音楽室、理科室、家庭科室、図書室、コンピュータ室、視聴覚室、かもめルーム		
磯辺第四小	S57	16,550 (借用)	(千葉県)	5442	校舎、体育館とも新基準(対象外)	なし	H15	26	22	図書室、音楽室、理科室、生活科室、家庭科室、図工室、コンピュータ室、視聴覚室、資料室、児童会室、健康学習室、フレンドリールーム	非常用井戸、備蓄倉庫(校舎3階)設置	
高浜第二小	S54	16,600		5264	校舎は実施済み、体育館は実施予定	なし	H1	23	19	図書室、音楽室、理科室、生活科室、家庭科室、図工室、コンピュータ室、多目的室、資料室、児童会室、教育相談室、読み聞かせ室、ランチルーム、伝承遊びルーム、なぎさっ子ルーム	非常用井戸、備蓄倉庫(校地内コンテナ)設置	
磯辺第一中	S55	29,731 (借用)	(千葉県)	6722	校舎未実施 (0.74,0.48,0.59,新基準) 体育館 (実施予定)	なし	H11	30	26	図書室、音楽室、第1・2理科室、木工室、金工室、被服室、調理室、第1・2美術室、コンピュータ室、視聴覚室、生徒会室、カウンセリングルーム、総合展示室、学年学習活動室、会議室、国・数・英学習室、保健管理室		地域開放ルーム設置 (2教室分)
磯辺第二中	S59	23,194		6447	校舎、体育館とも新基準(対象外)	なし	H15	23	20	図書室、音楽室、理科室、木工室、金工室、被服室、調理室、美術室、コンピュータ室、視聴覚室、生徒会室、カウンセリングルーム、備品室、学習室、作品展示室、会議室、進路情報室		

## 5 磯辺地区学区図

- ①磯辺第二小学校区の磯辺 7-37 から磯辺第四小学校まで 1.1 km、磯辺第一小学校まで 1.5 km
- ②磯辺第四小学校区の磯辺 3-18 から磯辺第二小学校まで 1.4 km、磯辺第四小学校区の磯辺 3-34 から磯辺第一小学校まで 1.2 km
- ③磯辺第一小学校区の磯辺 4-3 から磯辺第四小学校まで 400m、磯辺第二小学校まで 1.2 km

